

8. グループ・インタビュー調査

8.1 調査概要

新しいメディア利用による若年層のテレビ視聴について、高校生・大学生・社会人 29 人を対象に 2009 年 3 月、半構造化グループ・インタビューを行った。第 8 章ではこの調査結果をもとに報告する。

8.1.1 調査の目的

家庭で据え置き型受像機の前で視聴するという従来のテレビ視聴形態が、新しいメディアの登場によって揺らぎ始めているとも言われている。新しいメディア利用により、テレビ視聴がどのように変化し始めたのか、その変化の兆しを、リアリティーある生活環境の中で、個々の具体的視聴者の姿として捉えようというのが本調査の目的である。

本調査では、以下の 3 つの新しいメディアによるテレビ視聴を取り上げた。

- (1) ハードディスクレコーダーによる録画視聴
- (2) ネット動画視聴
- (3) ワンセグ視聴

8.1.2 調査方法

これら新しいメディアによる新しい利用実態を探るため、高校生、大学生、社会人 29 人を対象とするグループ・インタビューを行った。若年層が話しやすい雰囲気を作るため、また時間的制約もありグループ・インタビューという形式をとり、あらかじめ質問項目の枠組みを設定し、その上で参加者に自由に語ってもらう「半構造化グループ・インタビュー調査」を採用した。ただし、調査対象者に自由に語ってもらう「深層インタビュー調査」的な側面ももたせた。

グループ・インタビューを補足するため、事前に 0 章で紹介したアンケート調査を一部改訂した質問紙調査を実施した。

8.1.3 調査対象

首都圏在住の高校生、大学生、社会人（20～24 歳）合計 29 人を対象とした。

サンプリングは調査会社（「山手情報処理センター」及びその協力社）の保有するアンケート用モニターから、対象 3 メディアについてそれぞれ以下に示す条件で抽出した。

- (1) ハードディスクレコーダー利用群

「HDD 内臓の録画機器」を所有（家族で所有も含む）し、週 1 回以上録画番組を視

聴する。

(2) ネット動画利用群

動画投稿サイト（Y o u T u b e など）をほぼ毎日見る。

(3) ワンセグ利用群

ワンセグ携帯を所有し、週に2～3回以上視聴し、1週間の視聴時間が30分以上。

対象者の内訳は、ハードディスクレコーダー9人、ネット動画10人、ワンセグ10人、全体で男子15人、女子14人で、属性別では高校生15人、大学生6人、社会人8人の計29人を対象とした（対象者は30人の予定であったが当日1人が欠席した）。

	HDDレコーダー			ネット動画			ワンセグ			計 (人)
	男子	女子	小計	男子	女子	小計	男子	女子	小計	
高校生	3	2	5	2	3	5	3	2	5	15
大学生	2	0	2	1	1	2	1	1	2	6
社会人	1	1	2	1	2	3	1	2	3	8
計(人)	6	3	9	4	6	10	5	5	10	29

8.1.4 調査実施時期・場所・時間

実施日：2009年3月14日（土）10時、13時、15時

3月15日（日）10時、13時、15時

実施場所：放送倫理・番組向上機構（BPO）会議室

実施方法：3メディアをそれぞれ高校生の部と大学生・社会人の部の2グループに分け全体で6グループとし、各グループ4～5人に対してグループ・インタビューを行った。

インタビュアーは調査者の中の2名があたり、他のメンバーは別室でモニターを通じて観察した。インタビュー時間は各グループ1時間半。

8.1.5 インタビュアー

インタビュアー：小室広佐子、是永論

オブザーバー：橋元良明、元橋圭哉、田村和人、吉田暁生

8.1.6 インタビュー調査の基本質問項目

3グループに共通して尋ねた基本質問項目は次のとおりである。

- (1) 生活環境
 - ・日常生活、趣味、クラブ活動など
 - ・据え置き型テレビ視聴状況、PC利用状況
- (2) 対象メディアの映像視聴について
 - ・利用歴、視聴内容、時間、場所
 - ・利用理由
- (3) 視聴にかかわる情報行動
 - ・視聴に関する情報源
 - ・視聴に関するコミュニケーション
- (4) メディア利用が与える影響
 - ・新メディア導入前後の変化
 - ・ながら視聴
 - ・共時性
- (5) メディアによる使い分け
 - ・据え置き型TV、対象3メディアの利点と不満
- (6) 情報に対する意識
- (7) 映像メディアに対する希望・期待

8.2 ハードディスクレコーダー利用群

ハードディスクによる録画機器を導入することによってどのような視聴傾向が生まれたのかを、本節では高校生、大学生・社会人グループにグループ・インタビューで尋ねた結果を報告する。

8.2.1 録画番組

—録画はドラマ、バラエティー等、ニュースはリアルタイム視聴

録画視聴番組は、高校生ではドラマ、映画、お笑い、大学生・社会人ではドラマ、バラエティー、スペシャル番組のほか、ドキュメンタリーも挙げられた。ドラマは、連続ドラマを見逃したくない、というように毎回同じドラマを録画するのに対し、音楽番組については、好きなアーティストの出演番組を録画するというように、アーティスト主体であるようだ。

注) インタビュー引用後の [] には、発言した調査対象者の ID 番号、利用メディア群、学校学年/社会人、性別を記した。調査対象者 ID リスト一覧は、章末を参照。

- ・連ドラで見たいと思っているのは、もう、残業で帰って来れない危険もあるので、絶対に録画をやっています。[ID9 ハードディスク R 社会人 女性]
- ・だいたい、年間4クール分かれているじゃないですか、その一番最初のときに、だいたい見たいドラマとか決めて、もう、予約しておくような感じですね。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]
- ・ドラマとエグザイルが出る音楽番組は全部録画します。出るって知ったときに、前々から予約します。ドラマは、毎週予約してます。(知るってどうやって?) サイト見て。[ID5 ハードディスク R 高2 女性]
- ・映画とお笑いですね。・映画はもう時間帯決まってるんで、毎週、とりあえず。お笑いとかは、友達とかに、おもしろいよとか聞いたら。[ID3 ハードディスク R 大学2 男性]

逆に録画せずリアルタイム視聴する番組は、朝の情報番組、夜のニュース番組である。

- ・ニュースは絶対録画しないです。ニュースだけはリアルタイムで見るようにしてますね。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]
- ・リアルタイムでは情報番組をよく見ますね。朝8時に起きるので、フジテレビの『とくダネ!』とか。・・・ドキュメンタリーは録画して後で見るのが多く、ニュースなど時事的なものはその時に見えています。[ID8 ハードディスク R 社会人 男性]

8.2.2 視聴時間帯と場所

—高校生は休日にまとめて、大学生・社会人はその日のうちに再生視聴

録画した番組を再生視聴する時間帯については、高校生グループと大学生・社会人グループとで回答に違いが見られた。高校生は録画した番組を見るのは日曜日にまとめて見るのに対し、大学生・社会人の場合、当日の夜からせいぜい翌々日という、比較的間をおかずに視聴している。

高校生の場合、番組をある程度厳選して録画し休みの日にゆっくり視聴するという。

一方、社会人は残業がなければ仕事は6時前に終わる予定でも、急な残業があれば帰宅は8時、9時になる。大学生は図書館で勉強、サークル活動、アルバイトなどで忙しく、帰宅は9時、10時という。こうした時間的制約の中でも、大学生・社会人は、録画番組を録画後あまり時間をおかずに視聴している。

- ・休日にまとめて見る。[ID1 ハードディスクR 高1 男性]
- ・日曜日は、一応休みなので、ずっと見えます。[ID3 ハードディスクR 高2 男性]
- ・録画したものは、その日の夜か次の日か次の次の日までは絶対に見ているので。[ID9 ハードディスクR 社会人 女性]
- ・リアルタイムで見れるならリアルタイムで見ますけれど、仕事で遅れたり、そういうのもあったりするんで、追っかけ再生みたいな、そんな感じで見たりしますね。[ID7 ハードディスクR 社会人 男性]

録画の視聴場所は、ハードディスク付き録画再生機がほとんどの場合、居間に設置されているためリビングでの視聴となり、特に高校生・大学生は家族と一緒にテレビを見る機会となっている。

8.2.3 視聴スタイル

—どうでもいいところは倍速視聴

録画視聴の仕方に、一部の大学生・社会人に録画再生ならではの特徴的な視聴スタイルが見られた。録画視聴は“倍速”が基本である。

- ・倍速ですね。ハードディスクレコーダーとかに1.3倍速機能が付いているので、そういうの使って、時間短縮して見たりしますね。映画だと、PCの中に2倍速機能が入っているので2倍速にしたりしますし、なるべく時間を有効的に使おうって感じですね。1.3倍なら特に変わらないので、しゃべってる感じのニュアンスなんかも。多少、1時間見て、50分くらいになるのかな……。もう慣れちゃってるんで。要点要点を、こんな感じなんかになって、わかればいって思ってるんで。[ID7 ハード

ディスク R 社会人 男性]

- ・私も、HDD で3段階くらいにできるんですけど、一番、聞いてておかしくないようなスピードで見て、何箇所かわかんないんですけど、一応、倍速で見るようにしてますね。ただ、お笑い番組とかそういうのは、ちょっと、倍速にするとわかりずらいネタとかもあるんで。ドキュメンタリーとかだったら、内容さえわかればいっていい風な思ってるんで、ちょっと倍速にしても内容とか全然分かるので、ドキュメンタリーとかは倍速で見るようにしてます。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]

どのような時に倍速にし、どのような時に普通の速度で視聴するのか、その分けについて詳しく尋ねた。

- ・どうでもいいくだりっていうのがあったりするんで、そこはいらなかなと。アニメとか映画もそうですし、ちゃんと見たいところは、元に戻しますね、再生速度を。明らかに人が歩いてて、せりふもない場面なら、倍速再生して。うまく使い分けているっていったらいいんですかね、そんな感じですよ。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]
- ・自分の場合は、BGMとか、BGM聞いただけで感動するときもあるんで、早送りしてるとどうしてもBGMの良さがなくなってしまうので、BGMが流れるシーンとかだったらやっぱり普通のシーン（注速度）にして聞くようにしてますね。（倍速でも構わないところは？）倍速でもいいところは、BGMが流れてなくて、なんか、会話しているときに、あ、この人、話が長くて、要点だけまとめてくれればいいのにな、ていうような会話だと、もう、倍速にしますね。要点だけわかればいいんで。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]

では、家族も録画した番組を、倍速視聴しているのだろうか？

- ・父とか母は、倍速でドキュメンタリー見てたら、ちょっと早いんじゃない、みたいなことは言われるんですけど。ドキュメンタリーなど要点が分かればいだけの番組を主に倍速にして見るんで、家族はあんまりドキュメンタリーとか興味持ってないの、自分ひとりで見るときは、倍速で見ますね。それ以外は、家族で見る番組は普通のスピードで。・・・バラエティーは、うちの家族お笑い番組とか好きなんですけど、そのときは早送りしないですね。弟がいるんですけど、弟とかは、倍速で見ます。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]

一人で録画視聴するなら倍速が基本で、お笑いのように早口で倍速ではわかりにくいところ、番組中のBGMを音楽としてじっくり聴きたい時、家族と一緒に視聴するときは通常速度に戻すようである。

大学生・社会人のこうした倍速視聴スタイルは、彼らが帰宅後の在宅時間が短いにもかかわらず

ならず、その日のうち、あるいは2、3日以内に録画番組を見ていることと深く関わっていると思われる。一日のうち、自由に使える時間が限られている中、なるべく早く録画番組を「消化」している様子が伝わってくる。

彼らは視聴時に「内容さえわかればいい」「要所要所をわかればいい」と考え、番組を芸術だとか作品とはみなしてはおらず、「情報」の集合体として受け止めているのではないだろうか。制作者が番組に込めた「余韻」「間合い」といった時間的意味あいは、ここでは受容されていない。

テレビは時間軸をもつメディアであるが、録画視聴によって放送時間帯が移行されるだけでなく、番組そのもののもつ時間（長さ）も自在に縮められたり戻されたりしている。視聴者が独自のスピードに編集しながら番組視聴する、新しい見方の出現といえよう。

高校生の中には、CMを除いては倍速視聴をするという事例はなかったが、好きなアーティスト目当てに録画した番組を視聴するときは、そのアーティスト以外の場面は飛ばしてみようという。

- ・例えば『M ステ』を見ると、他のアーティストは全部飛ばして、エグザイルだけ見る。[ID5 ハードディスクR 高2 女性]

8.2.4 録画理由

一見逃したくない、好きな時に好きなペースで見たい

録画する理由について、社会人・大学生は帰宅時間が自分の思いどおりにならないため番組を見逃す恐れがあること、番組を見たい時に見たい速度で視聴するため、という切実な理由をあげている。

- ・リアルタイムで見れない可能性っていうのが社会人だとでてくるので、どうしても見たい番組は見逃したくないので。[ID9 ハードディスクR 社会人 女性]
- ・自分の場合は、スキップしたり自分の好きな時間に、好きなペースで見れるってのが一番大きいと思います。[ID8 ハードディスクR 大学3 男性]
- ・リアルタイムでも見るものも録画してるんですよ。何故かっていうと、仕事で見れなかったり、かえってから寝たりしてみずごしたら嫌なので、リアルタイムで見る番組も録画してます。見れるんだったらリアルタイムで見ますし、寝ちゃったりしたときに（録画を）使ったりもします。ドラマなんて、1時間ですよ。だいたい1話逃がすと展開がかなり変わったりするんで、それを見逃すのは、がっくりくるっていうか。1クール3本4本は見てます。アニメも見ますかね。後から見直すのもありますね。この場面、ちゃんと見てなかったから見直すとか。[ID7 ハードディスクR 社会人 男性]

8.2.5 再生視聴後

―見たら消去

録画再生視聴後は、ほとんどの人が消去すると述べた。

- ・見たら、ほとんど消しちゃいますね。容量がオーバーしちゃうので。[ID9 ハードディスク R 社会人 女性]
- ・消しますね。主に HDD で録画するんですが、どうしてもデータが残っていくんで、残っていくと容量が足りなくなってしまうので、消しますね。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]

そうした中、ハードディスクに残しておくのは、彼らにとって特別な番組のようである。

- ・すごい心にジーンときたものとか、すごい面白い番組だったら、ドキュメンタリーとか。映画はあんまり DVD とか他の媒体を通してみるので、一回しか見れない特番、さっき OO さんがおっしゃられたような特番とか、見れないものを、やっぱり残しますね。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]
- ・好きな映画は録画して残して置く。[ID6 ハードディスク R 大学4 男性]

さらに、もっと大事に保存しておきたいものは、ハードディスク録画機器ではなく、他メディアにコピーして保存している。

- ・エグザイルなどとおきたいものは DVD に焼く。[ID5 ハードディスク R 高2 女性]
- ・面白いものは DVD に焼いてとっておく。[ID1 ハードディスク R 高1 男性]

8.2.6 ながら視聴について

―録画視聴時も他メディア利用

リアルタイムで番組視聴する時は、食事をしながらテレビを見る等「ながら視聴」が頻繁に行われ、また、ケータイやゲーム、パソコン等他のメディアとの並行行動も若年層においては活発である。録画した番組を再生するときには、どのように視聴しているのだろうか。

高校生からは、電話をしながら、携帯メールをしながら、あるいは携帯でどこかのサイトを見ながらなど、ケータイ片手に録画番組を視聴している様子が報告された。ケータイでのやりとりは、録画視聴番組の内容に関係ないことが多いという。大学生・社会人も、再生画面を熱心に注視しているわけではない。

- ・ケータイでメールもインターネットも。ケータイいじりながら録画を見てる。(内容は?)番組と関係ない。[ID2 ハードディスク R 高3 男性]
- ・電話しながら。(録画の内容と)関係あるときもあるし、普通の会話のときも。[ID4 ハードディスク R 高2 女性]
- ・PCしながら見ていることが多い。 [ID7 ハードディスク R 社会人 男性]

番組を録画をしようという意欲はあったものの、録画をしたからといって再生時に、必ずしも集中視聴しているわけではない。「絶対見逃したくない」[ID7] [ID9]などという録画への意気込みの割には、内容によっては他メディアとの並行行動をとっている。

8.2.7 CM

—特別なCMを除いて、CMは敬遠

CM部分は録画さえされない。録画しても、スキップするなど極力避けられている。

- ・CMを入れないように録画する。[ID6 ハードディスク R 大学4 男性]
- ・CMはスキップする。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]
- ・CMタイムにはながら視聴している。PCのほうへ視線をやる。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]

しかし、面白いCMは別扱いである。

- ・面白いCMならスキップしない。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]
- ・飛ばさない。[ID6 ハードディスク R 大学4 男性]
- ・たまにCMを見たいときもあるんですが、家族が一緒だと飛ばされてしまう。[ID4 ハードディスク R 高2 女性]

8.2.8 ハードディスクレコーダー利用による変化

—録画量が増え、見方も変化

ハードディスクレコーダーの利用以前に比べて、録画する量、ジャンルともに増えた。理由は、大量の録画が可能になったことと予約のしやすさである。

- ・録る量多くなったと思います。ビデオだと重いし、買わなきゃならないじゃないですか。ジャンルも広がったと思いますし、録画しやすいじゃないですか、だから、量も増えたと思います。自分じゃなくて家族全体で増えたと思います。(録画したものを見てますか?)あんまり見てないです。[ID

4 ハードディスク R 高2 女性]

- ・確かに量が増えたと、ビデオはちょっとしか撮れないじゃないですか、内蔵だと、撮りたいと思ったのは次々とれちゃう。[ID5 ハードディスク R 高2 女性]
- ・ビデオデッキだと電子番組表が使えなかったのが、自分で、無料で配っているようなテレビ欄とかそういうので手入力とかしてたんですけど、やっぱり電子番組表になったことで、やっぱり視覚的にいろんなものが見れるようになったんで、気になった番組をポチッと押すだけで簡単に予約できるんで、録画するジャンルが増えたかもしれませんね。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]
- ・ナマで見る番組数が減った代わりに、録画するのがすごい増えたって感じですね。見るのはやはり若干早送りしたり。VHS だとどうしても倍速で見るとかいうのができなかったのが、そういった意味で今、ハードディスクで倍速で見れるので、見方も変わりましたね。ジャンルとか、録画するジャンルとかも増えました。お笑い番組以外にも、ドキュメンタリーとか情報系番組だったりとか。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]

先に記したとおり、社会人・大学生の一部では、番組を倍速機能を駆使して早回しで見るようになった点も大きな変化である。

8.2.9 他メディアとの使い分け

ー録画忘れたらネット動画へ

ハードディスク録画機器利用者も、パソコンの動画配信サイトや投稿サイトを利用している。その使い分けは、録画しそこねた番組を、ネット動画で補っているようだ。

- ・録画もせずに見逃してしまった番組は、動画配信サイトにすぐアップされてることがあるんですけど。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]
- ・予約してても野球の延長だったりしてすれ込んだりしたドラマも(ネット動画で)探して見たりしますね。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]
- ・見逃してしまったドラマだとかアニメ、見てなかったもの(ネット動画で)見たりしますし。[ID6 ハードディスク R 大学4 男性]

8.2.10 共時性

ーリアルタイムでなくても平気

録画視聴する場合、リアルタイム視聴に比べて視聴時間が遅くなる。しかし、情報の収集にタイムラグを感じることはないようだ。

- ・遅れたとしてもだいたい1日後くらいに見るんで、そこまで遅れてるかなって感覚はないです。だい

たいもう追っかけて見ていっちゃう感じであるんで。(ニュースは?) ニュースは絶対録画しないで。ニュースだけはリアルタイムで見るようにしてますね。『報道ステーション』と『ニュースゼロ』はたまに見てるようにしてます。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]

- ・ 時事的なやつは録画しないで、ナマで見ますね。バラエティーのお笑い番組だったりとか、いつ見ても時間的な遅れとか全然ないんで。友達とか番組の話しするとき、遅れとか感じますけど、そういった番組の感想とか、いつでも大学とかでできるんで(すぐ追いつくから問題ない)。[ID8 ハードディスク R 大学生 男性]
- ・ 報道番組はナマで見まして、ドラマとか見逃した番組は、その日の夜か、次の日の夜か次の次の日までには絶対見ているので、遅れを気にしたことはない。[ID9 ハードディスク R 社会人 女性]

また、実際の放送時間帯とは別の時間帯に録画した番組を再生視聴することにも、違和感は持っていない。

- ・ うちの母親が昼間にやっている『ごきげんよう』をハードディスクに録画してよく夜中に見ているんですけど、「おはようございます」とか「こんにちは」とか番組内で言ったら違和感感じますけど、番組の内容自体には、そんな、昼間だろうが、夜だろうが、関係ない内容なので、(違和感)内容的に感じないですね。[ID8 ハードディスク R 大学3 男性]
- ・ 深夜やっているバラエティーはドラマ、アニメとかもそうですけど、それを昼間に見て、違和感感じるかって言われると、そこまで深夜のものって認識してるんで、認識がちゃんとしているからかどうかわかんないんですけど、そんなに違和感感じずに、昼間でも朝でも見れちゃいますね。[ID6 ハードディスク R 大学4 男性]
- ・ 昔に比べると、最近の番組は、昼と夜の差を意識して作ってないんじゃないかな。・・・自分も見て違和感って感じたことないですね。[ID7 ハードディスク R 社会人 男性]

8.2.11 ハードディスク録画機器への不満

—不満なし

調査対象者からは、ハードディスクレコーダーへの不満は特にあげられなかった。

8.2.12 まとめ

—時間管理術としてハードディスクレコーダーを駆使

大学生・社会人の話を聞いていると、時間は自分の思い通りにはならないので時間管理術として録画機器を利用しているという意識を強く感じさせられた。残業があるかもしれないから保険をかけて録画しておくという社会人、好みの速度で好きな時間に自由に見るために録画するという大学生。いずれも、時間にしばられているからこそ、自由な時間を

有効活用したいという意欲が強く感じられた。同時に、テレビ番組を番組という作品としてではなく「要所要所がわかればいい」という、情報の断片の寄せ集めとして見ている点は、テレビの新しい見方であろう。

録画をすることにより、視聴時刻を好きに選べるというだけでなく、視聴速度の編集ができるようになった。CMカット機能だけでなく、将来は、せりふがないところは1.5倍速、あるいは好きな俳優の出ているシーンは普通速度で他のシーンは3倍速等、視聴者が速度変化をあらかじめ自在にインプットして再生視聴するようになるのかもしれない。番組制作者が思い入れをこめた「間合い」「余韻」を楽しむといった「時間」感覚は、そのままでは視聴者に受け入れられず、視聴者の側に時間軸が委ねられていく兆候が見られた。

8.3 ネット動画利用群

本節ではインターネットを利用してPCの画面上で動画をよく視聴するグループを対象に、ネット動画の利用実態や利用理由などを尋ねたグループ・インタビューの結果を報告する。視聴動画は、配信サイト、投稿サイトの両者を含む。

8.3.1 視聴コンテンツ

ーテレビの音楽番組、バラエティー、ドラマ、CMが人気ジャンル

ネット上でよく視聴されている映像は、主として投稿サイトで、具体的にはテレビの音楽番組、バラエティー番組、ドラマなどで、CMも視聴されている。テレビ番組以外では音楽のプロモーションビデオがよく視聴されている。音楽の特定のジャンル、バラエティーのおもしろいところ、という“事柄”による編集映像のほか、特定の歌手・演奏家による音楽を集めたもの、特定の芸人のお笑いを集めたもの、特定のタレントが出演するCM集など、“人”中心に再構成されたコンテンツも視聴されている。

- ・私の場合、見逃したドラマ。テレビで見れるときはもちろんテレビで見erんですけど、出かけたりしてみられなかったら、YouTubeで検索してみます。[ID14 ネット動画 高2 女性]
- ・好きな歌手の音楽番組とか、CMとか。好きなアーティストが、昔出てた（CMの特集）。[ID11 ネット動画 高2 男性]
- ・最近の音楽関係では「宇多田ヒカルライブ映像」、アニメソングの「さび」だけまとめたものがある。長いと1時間くらい。忙しければ見れない。[ID15 ネット動画 大学4 男性]
- ・音楽アーティストのPVと、バラエティーの美味しいとこだけ縮めたものとか、ちょっとしたお笑い番組ですね。投稿サイトですね。日によって違うんですけど、超えると、2時間以上見ちゃうときもあって。YouTubeって、ご覧になったことありますか？それで検索して右側に似たようなのいっぱい出るんですよ、そこに誘われるんです。それで、いつの間にか時間経ってるってっか、そういう時多いですね。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・私もOOさんと同じで、プロモーションビデオとか、アーティストのライブ演奏とか、やっぱり関連するやつ、昔のCM特集。私も1日5分で終わる日もあれば、30分以上見ちゃう日もある。（検索するのはその日の気分？特定のジャンル？）一番見るのは音楽です。[ID18 ネット動画 社会人 女性]

音楽は、“人”中心に編集された映像があげられたが、ドラマについては特定の俳優の出演場面等、人にこだわった場面ではなく、「見逃した回」というように連続ドラマの一話単位での視聴となっており、筋書きが重要な要素となっていることが伺えた。

8.3.2 利用時間帯と場所

―帰宅後はテレビつけずにもっぱらPC

高校生・大学生のいる家庭では、概ね朝の時間帯にはテレビがついているが、PCは立ち上げず、平日帰宅後にPCを利用している。バイト先でも自由に使えるPCがあって休憩時間に利用する高校生もいた。

社会人の場合、朝テレビはつけずにPCを立ち上げる習慣になっている一人暮らしOLもいる。ネット動画利用の社会人の間では、帰宅後はテレビをほとんどつけずにもっぱらPC利用のみという習慣が浸透している。

- ・帰ってきて私がひとりだったらテレビはつけなくて、PCでニュースなどを見ます。家族が見ているときにたまたま自分がいれば、バラエティーとかも見たりするくらい。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・帰ってきたときはテレビに触れず、まずPCをつけます・・・ずっとログオフ状態なので。[ID16 ネット動画 社会人 男性]

大学生と社会人は自室の自分専用のPCで動画視聴をするケースが多いが、高校生の場合は、居間で家族と共有のPCで動画視聴をする環境に置かれている場合が多い。動画視聴時に家族がそばにいと、高校生はしばしば親から小言を言われている。

- ・動画を見ている状況を見られるのが嫌。何か言われたり。PCの前に30分くらいならいいけれど、1時間も2時間もいると、その状況に、文句言われる。[ID11 ネット動画 高2 男性]
- ・30分もすれば、もう30分経ったじゃない、とか言われるし。見られちゃいけないってわけじゃないけれど、何見てるの?とか覗き込んでくる。[ID14 ネット動画 高2 女性]

8.3.3 ネット動画の視聴理由

―見たい映像だけ見られるから効率いい

テレビで放送される映像をリアルタイムでは視聴せずに、PCを利用してテレビ番組を見たり、加工された映像を見たりする理由として、リアルタイム視聴は時間に縛られる煩わしさがある、見たい映像だけを見るためには検索して編集加工された映像を見るほうがテレビ番組をまるごと見るより効率がよい等が挙げられた。

- ・テレビってやっぱり時間のしぼりがあるじゃないですか。何時から何時、7時からこれしかやってないって、そこに合わせて時間をさくのはもったいない。例えば、面白そうだなって思うのがあったとするじゃないですか、例えば、Aっていうお笑い芸人に興味を持ちました。次の日の新聞欄にも、A

さんが出ますって書いてありますけれど、それを見る時間だったら、動画サイトでAって検索して、関連づいた情報を手に入れるっていう、時間のしびりががないっていうのが一番のメリットっていう感じがします。[ID16 ネット動画 社会人 男性]

時間の制約を強調しているが、ここでもう一点注目すべきは、テレビの見方として番組を一つのパッケージとしてトータルに見るのではなく、誰々が出演している場面だけ、というように、細切れに、見ている点である。こうした見方が可能になるのは、昨今のテレビ番組のマガジン化した作り方とも関連しているのかもしれない。

8.3.4 同時並行行動

—PCで動画見みながら他メディア利用

ネット動画視聴時に、他にどんなことをやりながら視聴しているかを尋ねたところ、動画視聴と並行してPCの他のサイト、読書など他のメディアも利用している高校生もいた。背景には、集中視聴しなくてもPCだと何回でも見れる、聴けるという安心感があるようだ。

- ・動画を見るだけの時間を作ると、どうしても時間が足りないので、掲示板を見たり他のサイトに行ったりする感じですね。[ID10 ネット動画 高1 男性]
- ・音楽とか聴くときに、最初は何回か聴いて、あと何日かするとヘッドホンしながら本読んだりして。他のことやったり。[ID11 ネット動画 高2 男性]
- ・あたしもPCだといつでも見れるという意識があるから、聴きながら動画のサイトにいたりみたいな。他のところに飛んだりして。[ID14 ネット動画 高2 女性]

8.3.5 CM

—CM見たくないからネット視聴

テレビのCMは邪魔だからネット動画を見ている

- ・時間ってやっぱ大事だし、CMにじらされるって嫌だし。動画とかサイトとかそういうのカットされると、すごくいいなって。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・CMがないので動画サイトをみている。[ID19 ネット動画 大4 女性]

しかし一方で、高校生からはよく見る映像としてCM特集が挙げられている。

- ・好きな歌手の音楽番組とか、CMとか。好きなアーティストが、昔出てた（CM特集）。[ID11 ネット動画 高2 女性]

ット動画 高2 男性]

- ・俳優のCMの動画とか、テレビだとなかなかそのCMがやっていると出会えないので、PCで見えます。YouTubeで。1時間くらい。リビングで。[ID14 ネット動画 高2 女性]

8.3.6 ネット動画視聴による変化

—テレビ視聴時間減少してPC利用時間増大

ネット動画利用する以前と利用開始後で、どのような変化があったと感じるかを、生活時間の変化、メディア利用の変化について尋ねた。時間的な変化としては、テレビ視聴時間の減少、勉強時間の減少、ゲーム利用時間の減少、動画視聴時間の増大と捉えられている。

- ・やっぱりテレビを見なくなりましたね。理由は、さっきもあったように、時間がもったいない。7時から9時のゴールデンタイム、パタッと見なくなりましたね。その間、外に遊びに行ったりとか、他に時間をあてて、今までテレビを見てたのを外に遊びに行き、見そびれたものを家に帰ってサイトで見たり。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・テレビを見なくなったかわりに、PCを見るようになった。好きなものを好きな時に見たいんで。テレビはつけないんですよ。つけても、DVD 入れちゃったりして。PCのほうが無駄な時間を省けるし、見れるものも見れるし、凄く助かってる。[ID13 ネット動画 高3 女性]
- ・テレビとPCの比率が変わった。自分の好きな時間に自分の好きな見られる。ストレスが減ったっていうか。[ID11 ネット動画 高2 男性]
- ・私もやっぱりテレビは見なくなった。音楽番組なんかも、動画で見る。できればリアルタイムで見たいんですけど、あまりそれに無理して時間を割かない。後でアップされるかなーとか、そっちに期待しちゃう。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・勉強時間が減ってきました。やっぱり、やめられないんで、一度つけてしまうと。どんどん勉強時間減ってます。[ID14 ネット動画 高2 女性]

ネット動画視聴により、興味関心の領域については広がったと感じる人がいる一方、狭まったと感じる人もいて、捉え方は両方向に向かっているようだ。

関心が狭まったという人たちは、自分の好きな歌手やテーマばかりを検索する結果として、全体を見るのがなくなり、新しいものや流行に遅れがちだと感じている。一方、関心が広がったと感じる人たちは、関連動画など関連サイトによる影響を指摘した。

- ・自分の趣味が変わった。友達もそうですけど、アニメとかゲームが好きになった。[ID10 ネット動画 高1 男性]

- ・趣味、趣向というか、まあ、聴くものが広がったし。いろんなものが聴けるし、見れる。[ID15 ネット動画 大4 男性]
- ・関連の動画を見て、知らなかったことを知れるとか。最初は興味なかったことが見て面白かったとか。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・ドキュメンタリーの関連動画とか、最初は興味なくても、ああ、見てみようかなという気になる。[ID15 ネット動画 大4 男性]
- ・周りの友人が動画をアップし始めて、勧められてみるようになりました。逆に私は、聴く音楽とかは狭まりました。テレビで音楽番組を見ないで、新曲を自分で検索して聴く。知ってる人とかを聴くだけなので、新しい人を知らなくなりましたね。・新しい歌手とかついていけなくなった気はしますね。[ID17 ネット動画 社会人 女性]
- ・好きな人の昔の映像とか見て、やはり最新の情報から遠くなる。[ID16 ネット動画 社会人 男性]

投稿サイトは他人が編集したり選択したりした、誰かの手が加わったものが投稿されていることに対して、どのように感じているかを社会人・大学生に尋ねたところ、気にならない、多角的な情報が得られるなどと肯定的に捉えられていた。

- ・そこまでこだわりがない。どっちかって言うと面白半分で見ていることが多いので、違和感はない。・・・まじめっぽい情報は読売オンラインとかまじめっぽいサイトで見ると。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・テレビも、ある種、事実に対して人の手が加わっているんで、テレビの情報も聞いて、ネットの編集された動画も見たりして、多方面から情報を得られる。[ID15 ネット動画 大学4 男性]

8.3.7 他のメディアとの使い分け

—地上波テレビで全体傾向の把握、ネット動画で見たいものだけ視聴、録画は面倒

地上波テレビで全体像を把握し、関心のある事柄、人を検索してネット動画を見る、というのがテレビとネット動画両者を利用する彼らの流儀である。専門チャンネルや配信サイトも所詮は流されてくるものだから地上波と同じ位置づけのようである。自分の見たいものだけを見たい時間に見られるというネット動画の魅力は、他の媒体にはないようだ。

—地上波テレビとネット動画

- ・PCの方が、自分が好きな歌手を見て、テレビで新曲とか全体的に追う形。PCでは自分の好きな歌手ばかり見て。[ID19 ネット動画 大学4 女性]
- ・テレビって大多数に発信されているので、例えば、音楽でいうと、Jポップ主体っていうか、最新の

発売された音楽ばかり流すんですけど、やっぱりその自分がテクノが好きだったり、アニメ方向のをよく聴くんですけど、それってメジャーじゃなくてたまにしか流れることなく、その日を待ってなきゃいけない、ていうのがあるんで、やっぱり検索して、聞くほうが早い。[ID15 ネット動画 大4 男性]

- ・ゴールデンタイムでやってる音楽番組を見て、さらに、好きなアーティストは、プロモーションビデオを見て、PV はテレビではあんまりフルで流れないので、PC開いて。[ID12 ネット動画 高1 女性]

—専門チャンネルとネット動画

- ・自分から専門チャンネルにつなぐ気はしない。理由として、投稿サイトにころがっているから。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・昔、90何年の音楽、テレビじゃやらないじゃないですか、PC調べて。専門チャンネル入ってます。好きじゃないアーティストのPVとか見たくないの、見たいのだけ、的をしぼって、短い時間で見たい。[ID13 ネット動画 高3 女性][ID15 ネット動画 高2 女性]
- ・ディスカバリーチャンネルって内容がどうであれ、おもしろいんです。そうするときりがなさ過ぎて。実際に見ることはあまりなくて、投稿サイトでみつけたら、見る感じ。[ID15 ネット動画 大4 男性]

—配信サイトと投稿サイト

- ・昔『GyaO』とか見た。・配信サイトに配信された動画が投稿サイトに転載されることがあるので投稿サイトで検索したほうが早い。[ID15 ネット動画 大4 男性]
- ・狙った情報を検索するなら投稿サイト、わざわざ流されるのを見る必要がない、興味があれば別だが。(テレビを見ないのと同じ理由) [ID16 ネット動画 社会人 男性]

—録画とネット動画

- ・私はやっぱり時間をそれに合わせて行動したり、何時までに帰んなきゃいけないとか。あとDVDの録画のセットとか面倒くさいっていうのと、いいところでCM入るじゃないですか、動画投稿サイトだと、見たいのだけ、見れる、それが私の中ではメリット。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・(録画は?) 数日たてば、ネットにころがってるから、わざわざ自分に負荷をかけたくない。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・録画してまで見たいって、最近ないですね。[ID15 ネット動画 大4 男性]
- ・録画しようと思うんですが、忘れちゃうんで。そうすると、ネットで。[ID14 ネット動画 高2 女性]

ネット動画視聴群の対象者は、録画することのハードルが高く感じられ、録画より検索視聴のほうが手っ取り早いと受け止めている。

いずれのメディア利用の場合と比較しても、ネット動画を利用する理由は、自分が見たい部分だけを見て他の部分は見たくないという指向性が強く感じられ、そのために、検索の手間は惜しまない。

8.3.8 共時性

リアルタイム視聴でなくても困らない

リアルタイムでのテレビ視聴に比べて、ネット動画で番組を見るのは、時間的遅れをもたらす。また、検索視聴ならば放送時間を無視して視聴者が自由な時間に番組の一部を見ることがになる。こうした、放送時刻との共時性が失われることに対して、ネット動画視聴者は気づいているが、だから困るわけでもないと言う。

- ・ニュースはネットや新聞でキャッチしてるんで、そんなことないんですけど、バラエティー、番組のほうは、情報とり遅れたりすることありますね。兄弟がいるんですけど、あれおもしろかったねって話しするんですけど、何それって。ニュース面は遅れませんが、番組面は遅れますね。[ID16 ネット動画 社会人 男性]
- ・たまにお笑いのネタとかはやってやるじゃないですか、そういうのとかついていけないけど、気にしない。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・テレビを見ないんで、バラエティーが全然わかんないんですよ。今、お笑い芸人が人気あるじゃないですか、オードリーとか、今だに、顔見たことないし、ネタも知らない。CMでしか見たことない。友達とか、その話題してると、中に入っていられない。(だからテレビを見ることはないのか?)しない。[ID12 ネット動画 高1 女性]
- ・特にこれは夜用の番組とか、意識してみてるわけではないので、トーク番組はトークを見たくて見るんで、あんま時間を意識してなくて、番組をいつやってるとか。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・私も違和感っての感じたことないですね。もともと見ているのが音楽関係のPV(プロモーションビデオ)が多いので感じたことないです。[ID19 ネット動画 大4 女性]

放送というメディアは、時間軸をもったメディアである。1日、1週間分の番組表があって、それぞれの曜日、時間帯に合わせた番組を放送するため「番組編成」という時刻表作りの作業に相当な労力がさかれてきた。それなのに放送時刻を無視して視聴者の都合のよい時間に視聴しても、違和感を感じないというのである。

8.3.9 ネット動画への不満

—細切れ映像は不満だが仕方ない

ネット動画に対する不満は、今回のインタビューではほとんど出てこなかった。投稿サイトの映像はせいぜい10数分と短いものであることに対して、不満はないか確認の問いをしたところ、大方は仕方ない、対処しているという回答だった。

- ・投稿サイトでは細切れになっていて満足はしていないんですが、自分はそれしか知らないので、区切ってあっても、面倒くさいは面倒くさいんですが、がんばって見えます。[ID14 ネット動画 高2 女性]
- ・長いものを見るときは区切られちゃうんですけど、CMを見るよりいいかな、CMで途切れるのとあんまり変わらないかな。[ID13 ネット動画 高3 女性]
- ・細切れはあまり気にならない。気になる場合はウィンドウを3つくらい開いて、全部フルでダウンロードしてから見はじめる。一個目終わったら次のを見てって風に、タイムラグがないようにしている。[ID11 ネット動画 高2 男性]
- ・あとテレビだと区切りがなく延々と見てしまうので（むしろネットで区切りがある方が良い）。[ID17 ネット動画 社会人 女性]

8.3.10 まとめ

—ネット動画視聴は番組を分解、再構成して視聴

検索視聴により、「番組」という単位が分解されて視聴されている。番組解体である。

従来の視聴者像と比較すると、与えられた番組を放送局の差し出す時系列で受動的に視聴するのが従来型の視聴者だとしたら、ネット動画視聴者は“好きな時間”に、コンテンツとして分解され別の単位で再構成された新たな映像から“好きなパーツだけ”選択視聴している。

ここで求められる放送局の役割は、次々にコンテンツを制作することであろうか。番組全体の構成などを思案する必要はなく、マガジンのように断片的シーンをどんどんつなげていけばよいのだろうか。番組表や映像そのものにも、検索するときひっきりやすいキーワードやキー映像をつけることが、人気度アップの鍵となっていくのだろうか。

8.4 ワンセグ利用群

8.4.1 利用時間帯と利用場所

一弁当タイム、夜の自室も重要な利用場所

ワンセグをよく利用するユーザーの主な利用時間帯・場所は、朝の通勤通学時、学校や職場の昼休み、授業やアルバイトの空き時間や休憩時間、ちょっとした待ち時間、夜の自宅でのくつろぎ時であった。

(1) 朝：自宅で視聴していたニュースの続きを通勤、通学時に電車の中で視聴すると、高校生、大学生、社会人いずれからも報告された。

- ・朝『ズームイン』を見て、そのまま電車でずっとワンセグで見ながら学校行ってる。[ID24 ワンセグ 高3 女性]
- ・音楽とか、何もないと結構寂しいので、テレビを見ます。(通勤中も?) 何もすることがないんで暇なんで、ニュース見てます。[ID28 ワンセグ 社会人 女性]

通勤も帰宅時になると、バラエティーも視聴されていた。

- ・私は通勤中、朝はニュースを見て、帰りはバラエティーを見ます。[ID25 ワンセグ 社会人 男性]

(2) 昼休み：弁当時間の雰囲気作りにワンセグが一役かっている。一人弁（一人で食べる弁当）の手持無沙汰を紛らわす道具として。

- ・昼休み、12時40分に授業が終わって、そこからご飯食べるんだけど、その間だけ『笑っていいとも』。1時には(番組が)終わっちゃうのでワンセグを切って。・・・見てるっていうか、皆がこう集まってきて、食べて、1時くらいに終わるんで、終わったら大富豪(注 トランプの一種)する。(ワンセグ持ってきて昼に見てる人は何人くらい?) クラスで5、6人くらい。[ID20 ワンセグ 高1 男性]
- ・会社の昼休みに、見てます。『笑っていいとも!』。・・・昼休みになったらすぐつけます。つけばなしで、他のことやったり、歯磨きしたり、食べたりしてます。(ワンセグを)置いといて、休憩室の机で。(一人だからってことあるんですか?) 他の人いないですね。一人で休憩、交替で。・・・番組が見たくてつけるわけではなくて、昼休みの、なんだろう、余興というか、音を出す習慣で(ワンセグを)つけてしまうんです。・・・以前は音楽を iPod のようなウォークマンで最大ボリュームで聴いていた。[ID27 ワンセグ 社会人 女性]
- ・私は朝、会社に行く時、たまに見ると、お昼休みに良く見ます。(別の方と同じなんですけど、)『笑っていいとも!』。その時間にたまたまやってるから。あたしは他の人が(そばに)いるんで、皆で

見たり、別にそんなすごい見てるっていうか、つけてるってか。[ID28 ワンセグ 社会人 女性]

昼休みの視聴の場合、特定の番組を見たいという積極的視聴理由よりむしろ、何でもいから音を出して、場の雰囲気作りに一役かってくれる道具として活用されている。[ID27]のケースは、一人で昼食をとるいわゆる「一人弁」の手持ち無沙汰解消の道具として、従来音楽モバイルが利用されていたのがワンセグ視聴へと移行した例である。

(3) 出先での空き時間：特に見たい番組があるわけではなく、暇つぶしにワンセグを視聴する。

- ・アルバイトの休憩時間とか、授業の空き時間とかに見たりします、外では。バラエティーとか、その時やっておもしろいものを見ます。・・・ 特におもしろいことないので、授業の合間につけてみんなで見たりして。(学食で?) そうです。・・・ 外で見るのは結構、バラエティーが多いんですけど、私の中で「絶対見なくちゃいけないもの」と「どうでもいいもの」があって、結構、外では「どうでもいいもの」を見て、番組の、自分の中での重要性があって、どうしても見たいもの、シリーズものなんかは、YouTubeで見ます。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]

(4)「特定の见たい番組を見る」ために、番組録画して持ち歩く(詳細は録画の項参照)。

(5) 帰宅後の中心は、マイテレビとして自室での視聴。風呂場での視聴も。

- ・家では、お風呂の中で見たりします。長風呂なんで。それも、見たいものがあつた時とか、面白そうなものがあつた時とかですね。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]
- ・9時や10時くらいからドラマ始まるんで、妹と私と見るテレビ(番組)が重なってれば、下(居間)で見るんですけど、重なってなかったときは自分の部屋でワンセグで見ます。違うテレビ(番組)が見たいと思ったときは自分の部屋に行ってワンセグで見ます。(リビングの据え置き型で見るより)自分の部屋の方がいいので。[ID23 ワンセグ 高3 女性]
- ・姉と同じ部屋なので、姉が見てる時は、私見れないので、ワンセグですね。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]
- ・ワンセグは家族で見るものが違う時とかは、部屋で見ます。[ID24 ワンセグ 高3 女性]
- ・親に(据え置き型テレビを)占領されているとき(ワンセグを)見ます。(どこで?)布団の中で。[ID26 ワンセグ 大学3 男性]
- ・家に(テレビが)3台あるんですけど、自分のしている作業(しながら)で、テレビ見たいんで。自分の部屋で見たいので、姉と一緒に(の部屋)なんですけど、ワンセグで見ます。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]
- ・11時とか12時とか、自分の部屋でゆったりしているときに(ワンセグを)見る。マンガとか、自

分の部屋で行動すること多いんで、その時にテレビ見たいなと思って。[ID21 ワンセグ 高3 男性]

家庭でのワンセグ視聴はインタビュー調査ではほとんどが自室で、家族が据え置き型テレビで別の番組を視聴している場合である。ワンセグという2台目、3台目のテレビの出現により、彼らの家庭では家族間のチャンネル争いは解消された模様だ。

自室でのワンセグ利用のもう一つの理由として強調されたのは、家族に関係なく、自室で何か他のことをやりながら視聴したいから、というものだった。自室という自分の城でくつろいだとき、ワンセグは自分専用の“マイメディア”として利用されている。

寝付かれない時、寝付くまでベッドの中で見る、というユーザー[ID27]もいたが、寝付けないときにラジオを聴きながら眠りに落ちるというかつての習慣が、ワンセグに継承されていくのだろうか。

8.4.2 視聴番組

—ニュース（朝）、バラエティー（昼、夜）、ドラマ（夜）、スポーツ（深夜、昼）

ワンセグ利用の特徴を番組ジャンル別に再整理してみよう。

ニュースは朝の通勤通学時間帯と夕方の通勤時間帯に視聴されていた。

バラエティー番組『笑っていいとも!』は昼休みの視聴番組として高校生、大学生、社会人に幅広く定着しているようだ。バラエティーは、夜、自宅でも視聴されている。

ドラマは夜、自室で視聴されている。

スポーツ番組は高校生、大学生によく視聴され、スポーツイベントのリアルタイム視聴と深夜帯の試合中継の録画視聴という2種類の視聴形態がある。

- ・オリンピックとかああいう時、家じゃない所にも見れる。ああいう特殊な時、録画もするけど、まず、生で見たい。録画だと、もっと客観的に見る感じになる。動きとか、分析に役立てるとか。・・・生で見るときは、勝負、駆け引きを楽しむ。・・・水泳の日本選手権、マラソンも見る。[ID26 ワンセグ 大学3 男性]

8.4.3 録画

—ワンセグは小型録画再生機

録画視聴の特徴の一つは、深夜放送のスポーツ番組を録画し、日中の暇な時間に見るというもので、高校生、大学生に浸透している。

- ・ワンセグだと、番組（夜中にやっているサッカーの試合90分）を録画して学校の行き帰りに見るこ

とが、たまにある。[ID22 ワンセグ 高2 男性]

- ・通学の時は、電車が結構長いので、電車の中でニュースや録画したのを見てます。(サッカーの試合を直接ワンセグで録画したもの)・・・学校の時は、お昼休みに、録画した番組とか見えます。・・・録画です。ワンセグに録画したもの。暇な時間があったら、すぐ見ます。iPod も聞いているんですけど。競馬とか格闘技とかも。・・・深夜のスポーツはケータイで録画して朝見るっていうのが多いです。[ID24 ワンセグ 高3 女性]

自分で視聴するためではなく、友達に見せるために持ち歩くというケースも紹介された。モバイルの小型録画再生機として利用されている。

- ・ダンスとか、テレビでダンスの番組とかやってるんですけど、それをサークルの子たちと見て、振りをパクったりとかしますね。ワンセグ録画して、テレビで家でも見てるんだけど、録画して、持ってって、踊るとき、見たりしますね。(回りの友人は録画する?) はい、いい番組とかあったら持ってきたりして、結構音楽番組が多いんですけど。だいたい10分くらいですね。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]

ワンセグでの録画は、深夜のスポーツ番組中継のように、不都合な時間帯の放送番組を録画して自分が後で暇な時に見るという主として時間の問題解消のためと、友人に見せるために録画して持ち歩くという空間の問題解消のためという、二種類の目的がある。いずれの場合も、ワンセグの手軽に録画し持ち運べる機能が支持されている。

8.4.4 データ取得

—スポーツ番組視聴にデータは欠かせない

ワンセグによるスポーツ番組視聴のもう一つの特徴は、データ取得である。

- ・ワンセグだと、スポーツだったら、途中経過だったり、誰が打ったとか、打率とか全部見れるから、スポーツ番組だったらワンセグ。ほぼ毎日です。[ID22 ワンセグ 高2 男性]
- ・(据え置き型の)テレビ見ながらワンセグつけて情報をとるの、結構します。ベンチ入りしている選手とか、リンクで飛んで選手の情報見るとかします。野球も同じ感じですね。・・・ドラマなどの情報は取らない。[ID24 ワンセグ 高3 女性]
- ・ケータイの下のほうに出てくるデータで、打率とか得点がどういう風に動いているとか。ドラマなどの情報は取らない。[ID20 ワンセグ 高1 男性]

8.4.5 ながら視聴・並行行動

—画面が小さくても同時に他メディア利用

最近のテレビの視聴スタイルは、画面に集中して視聴するより、何か他のことをしながら見る「ながら視聴」が多く、また、テレビを見ながら他のメディアに接触する「並行行動」も多くみられる。ワンセグのような小さい画面の場合、果たしてどのような視聴スタイルがとられているのだろうか。

今回のグループインタビューでは、ワンセグのながら視聴として、風呂に入りながら、電車に乗りながら、昼食を食べながらという事例をすでに紹介した。また、スポーツクラブの影響か、ランニングマシンや筋トレをしながら自室でワンセグを視聴するという例も高校生、大学生の男性から報告された。

- ・部屋にランニングマシンあるのでワンセグ見ながらランニング。[ID22 ワンセグ 高2 男性]
- ・筋トレやっているときの暇つぶしに（見るようになった）。[ID26 ワンセグ 大学3 男性]

かつてラジオを聴きながら勉強する、というながら聴取があったが、ワンセグの場合も勉強との「ながら」がみられた。

- ・ワンセグ見ながら勉強。[ID23 ワンセグ 高3 女性]

ワンセグと他メディアとの「並行行動」に関しては、ワンセグとゲーム、iPod、マンガ、電話などを同時利用するという、据え置き型テレビと同様の並行行動が見られた。

- ・平日のほかの時間は、部屋こもって、親ともそっから見るもの違ってくるんで、ワンセグでドラマ見てるんです。妹もワンセグ。自室で。（どんな風にして？）イヤホンをつけてゲームをやりながら。DSです。寝てる状態で、じゅうたんに。[ID20 ワンセグ 高1 男性]
- ・スポーツとかよく見るので、あんまり音声とか気にしないで、iPod 聞きながらワンセグみてるっていうのが結構あります。・・・テレビ見ながらPCとかもするし、そういうのが結構やってます。ワンセグ見ながら勉強や本やマンガを読む。[ID24 ワンセグ 高3 女性]
- ・ワンセグ見ながら、電話がかかってくることもあります。自分がかけるときもある。「いい番組やってくるから見たら」とか。[ID27 ワンセグ 社会人 女性]

8.4.6 CM視聴

—CM時にチャンネルを回せない

CM時間帯には据え置き型テレビではチャンネルを変える、録画視聴の場合には早回し

するなど、他の利用群では、特別なCMを除いてCMは避けられる傾向にあった。しかし、ワンセグの場合はCMを飛ばせない。

- ・（普通のテレビの場合は）パチパチ他のチャンネルを見たりします。CMの間にパチパチしてまた戻ってくるみたいなの。（ワンセグだと）なんか、受信が悪いのでじっとしてますね。チャンネルを変えるのは時間がかかっちゃうので。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]
- ・（普通のテレビだと）他のところに回したり、今のうちにトイレ行っとうとうかして、他のことしてCMは見ていない。ワンセグのCMの時はそのまま流しっぱなしで他のことをする。[ID27 ワンセグ 社会人 女性]

8.4.7 ワンセグ利用による変化

ーテレビ視聴時間が延び、データで知識が増え、話題が増えた

ワンセグを利用したことによる生活の変化として、TV視聴時間の増大があげられる。朝の通勤時のニュースのリアルタイム視聴、昼の時間帯視聴、録画あるいはリアルタイムで深夜帯のスポーツ番組視聴がこれまでの視聴時間に加わったようである。

また、これまではiPodを聞きながら何かをしていたのが、ワンセグを見ながら何かをするという、iPodからワンセグへの移行も見られた。ただし、iPodを聞きながらワンセグを視聴するという並行行動もある。

- ・やっぱりテレビを見る時間が長くなりました、一日の中で。[ID29 ワンセグ 大学2 女性] ほか3人
- ・お昼は見てなかったの、ワンセグになってから、昼も結構みるようになりました。（以前は？）音楽をかけていました。ふつうのiPodのようなウォークマンを、ボリューム最大にしていた、それがワンセグになりました。[ID27 ワンセグ 社会人 女性]
- ・筋トレやっているときの暇つぶしに（見るようになった）。（以前は？）前はiPod。[ID26 ワンセグ 大学3 男性]

テレビを視聴しながらデータ放送の字幕を読むという映像情報と文字情報の同時受容の習慣、あるいは映像情報を受信しながら関連データの検索という相互作用の習慣を、ワンセグは一部の利用者にもたらした。

- ・寝不足になることが多くなった。スポーツ関係の知識が多くなった。下に字幕がつくじゃないですか、リアルタイムで普通のテレビで見ると何言ってるかわからないコメントがあったりするんですよ。それが、字幕がつくと全部わかるので。（地上波放送も）そういうふうな放送形態になったらいいと

思う。[ID22 ワンセグ 高2 男性]

- ・字幕は画期的だと思います。やはりデータ受信で自分の知らなかったのが知るようになったのが、結構大きいと思います。選手の情報とか、その選手の経歴みたいな、リアルタイムで見ているからこそ、その選手がどうだったかってこと知りたいので、出てくるのですぐ調べるようになったので。

[ID24 ワンセグ 高3 女性]

ワンセグによる生活変化としては会話が增えた、話題が増えたと感じる社会人もいた。

- ・お昼（休み）の時間の会話が增えた、テレビに対しての話題が。あんまり会話がなかったのが、明るくなりました。[ID28 ワンセグ 社会人 女性]
- ・仕事の方と話題（会話）をしたりして。そうですね、バラエティーですね、ニュースとか。[ID25 ワンセグ 社会人 男性]

8.4.8 不満、利用されない理由

—電波受信状況の悪さ、電池の減り、画面切り替えの遅さ等不満は多い

(1) 実際にワンセグをよく利用している人の不満

よく利用している人たちからは、電波の受信状況への不満が多く言及され、その他、チャンネル変更時の画面切り替えの遅さ、電池の減りについても不満が出された。

- ・画質の悪さ。電波が不安定。[ID22 ワンセグ 高2 男性]
- ・地下鉄でもずっと映るようにして欲しい。[ID25 ワンセグ 社会人 男性]
- ・学校だとベランダの近くでないと映らないので、それがちょっと苦勞。[ID20 ワンセグ 高1 男性]
- ・アンテナを立てないと電波がよくないんで、アンテナちょっと恥ずかしい。最近（アンテナを）立てるケータイはあんまりないんで、立てることになんか、恥ずかしさを感じる。[ID27 ワンセグ 社会人 女性]
- ・手が疲れます。ちょうどいい位置に合わせるんで、手、ずっと持っていると、きついです。[ID26 ワンセグ 大学3 男性]
- ・外で見るのはバラエティー番組が多いって答えたんですけど、だからこそチャンネルをパチパチ結構したいんですけど、いちいち押すんですよ、なんか、待ってないといけないんで、受信を。それがちょっと嫌ですね。[ID29 ワンセグ 大学2 女性]
- ・電池の減り。…電池パックを2～3個持っている。[ID22 ワンセグ 高2 男性]
- ・データが大きいのでメモ리카ードをたくさん用意しなくちゃならない。[ID24 ワンセグ 高3 女性]

(2) 不満への対処法

不満は持っているものの、ワンセグ利用度の高い人たちは、その対処法を身につけている。

- ・基本、見る所は、映るって分かっているところ。[ID22 ワンセグ 高2 男性]
- ・不便はあるが暇つぶしに使っているだけなのであきらめて使っている。[ID24 ワンセグ 高3 女性]
- ・不便はあるが充電をしなければしょうがないと思って使っている、慣れもある。[ID20 ワンセグ 高1 男性]

(3) ワンセグを所有しているが利用しない人たちからの不満

ワンセグをよく利用する調査対象群以外の群で、ワンセグを所有しながら利用度の低い人たちに、所有しているのに何故利用しないのかを尋ねた。電波受信状況の悪さ、電池の持ち時間の短さが最大の問題で、画面の小さいことも、所有しているにもかかわらず利用しない理由としてあげられた。中でも、自宅で映らないことが、利用しない理由となっているケースも多くあげられた。ワンセグの利用場所が、外よりむしろ家庭で、その中でも自室で最も利用されていることの裏返しの側面といえよう。

- ・部屋では映らないんです。携帯の電池がなくなると外に出ていて何があるかわからないので困るんで、そこまでして見るのなら音楽を聴きます。[ID18 ネット動画 社会人 女性]
- ・家では電波が入らないし、地下鉄で見れないので使わない。[ID15 ネット動画 社会人 男性]
- ・やっぱり電波が悪いんですよ。携帯電話で使うんで、電池消費も激しくて、長時間見ることができないっていうデメリットもあるし。・見るんなら家で見た方が画面とかきれいですね。[ID8 ハードディスクR 大学3 男性]
- ・あってもなくてもって感じですね。どうせ見るなら大画面でって感じですね。ワンセグ見るのにまだちゃんと電波がしてないってのもあって、自宅じゃ見れないんです。家の外では見れるんですけど。おまけに見るのにちょっと時間がかかりますし、電波安定させるまで。[ID7 ハードディスクR 社会人 男性]
- ・まず画質が悪い。わざわざ外に出てまで見たくない。電車とか長い距離とかで見ようと思うんだけど、電波が入らない。遅れてくるんですよ。だったら見なくていいかなって。電波の入り方が悪いのが一番の理由。[ID2 ハードディスクR 高3 男性]
- ・買ったときは期待したんですけど、外では基本的に周りに何にもないところでしか見られないから、見ません。[ID17 ネット動画 社会人 女性]

ワンセグは利用しないのに所持しているという、不思議なメディアである。その背景には、ワンセグ放送利用者の大部分は携帯電話によって受信しており、最近の携帯電話にはワンセグ機能が標準装備であるかのようにほとんどの新機種についていることがあげられよう。ワンセグ保持者は、ワンセグを利用するかどうかの選択より他の機能の選択の結果、ワンセグもついている携帯電話を購入することになり、特に利用しようという意欲もないのにワンセグを所持する結果となっている。

8.4.9 まとめ

—ワンセグは“マイテレビ”、“小型録画再生機”、“データ受信機”。“リアルタイム視聴”だけが売りではない

グループ・インタビューを通じて若年層のワンセグ利用には主として以下のような形態があることが示された。

- (1) 自室で見たい番組をゆったり見られる「マイテレビ」
- (2) 出先でスポーツイベントをリアルタイムで見る「リアルタイム」視聴
- (3) 出先での「手持無沙汰解消」や「暇つぶし」
- (4) 持ち運び可能な「録画再生」機
- (5) スポーツの「データ取得」

初期のワンセグの宣伝に、電車の待ち時間に野球の生中継をワンセグで見られますという謳い文句があったが、そうしたリアルタイム視聴は、今日ではいくつかある利用形態の一つにすぎない。

8.5 3メディアを通したまとめ

ハードディスクレコーダーによる録画視聴、ネット動画視聴、ワンセグ視聴という3つの新しいメディアの視聴について、それぞれにグループ・インタビューから見出されたことを前節までにまとめた。本節ではそれらをもとに3つのメディアの視聴状況を比較する。

8.5.1 3メディア選択基準

インタビュー対象者はスクリーニングの時点で、対象メディアについてのヘビーユーザーを抽出したが、他のメディアを利用しないわけではない。対象者の発言から、新メディア利用の相互関係を探ると次のような関係となった。

録画せずに見落としてしまった場合、動画配信サイトにすぐアップされるのでネットで見る、予約しても野球の延長でずれ込んだドラマはネット動画で検索して見るというように、録画視聴習慣のある人は、ネット動画を録画しそこなったときの安全弁として利用している。

逆にネット動画利用群の対象者にとっては、録画の手間は面倒と捉えられ、数日たてばネット上にころがっているのでそれで十分だと言う。興味あるジャンルの全体像はテレビ地上波でチェックして、好きなものだけをネット動画で見る。専門チャンネルや配信サイトは、地上波と同様に見たくないものも見せられるので、投稿サイトが最も効率よく見たいものを見られる。

ワンセグ利用者の中には、暇つぶしの番組を外出中に見て、どうしても見たい番組は投稿サイトで見るという使い分けもあった。

8.5.2 同時並行行動

—新メディア視聴時にも他メディア利用

食事や通勤などの「ながら」行動に加えて、他メディアとの同時並行行動がどのメディア利用にも見られた。

録画再生視聴時に、高校生は通話、ケータイメール、ケータイでのインターネット利用等、ケータイ片手に録画再生視聴している。ケータイでやりとりする内容は番組に関係ないことが多い。

ネット動画はPC上の別のサイトを見ながら、読書しながらなど様々なメディア利用が報告された。ネット動画だと何回でも見られるという安心感が背景にある。

ワンセグという小さい画面を視聴している時にも、ゲーム、DS、iPod、PC、通話しながらという同時並行行動が見られた。

新メディア利用だからといって特別なことはなく、3タイプの新メディア利用者は、据え置き型テレビ視聴の場合と同様、様々なメディア利用行動を同時進行させている。

8.5.3 共時性の喪失

—元々の放送時刻にはおかまいなし

録画機器利用者でも、ニュースはリアルタイムで視聴する。ネット動画利用者はニュースはネットでキャッチできるので世の中の動きに遅れることはないという。

バラエティー、ドラマなど他のジャンルについては、録画視聴やネット動画視聴によって視聴時間の遅れが生じて情報受信に遅れがあったとしても、別に構わないと利用者は考えている。

録画再生やネット動画視聴により番組放送時間帯以外に視聴すると、元々の放送想定時間帯とずれが生じるが、そうした放送時間帯のずれがもたらす違和感を感じることはないと調査対象者は感じている。「トーク番組はトークを見ている」との発言に現れているように、番組内のいくつかのコーナーを独立した単位として見ているため、放送の時刻感覚が薄れている。こうした見方は、録画視聴者にもネット動画視聴者にも共通していた。

ワンセグにはいつでもテレビを見られる、という主旨の宣伝文句があるが、利用方法は必ずしもリアルタイムにこだわった使い方ばかりではない。むしろ、リアルタイム視聴へのこだわりがあるのは、ニュースとスポーツイベントの中継に限定されるといってよいだろう。家庭内でのマイテレビとしての位置づけ、昼休みの暇つぶし、データ放送利用などは、それぞれ、もう一台の据え置き型テレビ、小型モバイル映像再生機、データ通信機としての機能の利用である。

放送の起源は生放送に始まり、放送時刻表という時間軸があつてのメディアであった。放送局が提示する番組編成ではなく、視聴者が自由にタイムテーブルを組むという、時間軸なしの視聴が主流となるとしたら、テレビ局の仕事の核は何なのか、改めて考える必要があるだろう。

8.5.4 CM

—CMは飛ばされるが、見たいと思う特別のCMもある

CMはうっとうしがられている。録画再生視聴では、そもそもCMは録画しない、録画したとしても再生時にはスキップ視聴や早まわしする。ネット動画での視聴も、CMが入らない点が評価されている。

しかし、特に高校生の間には、おもしろいCMは別扱いという見方もあった。録画再生時に、おもしろいCMを見たいのに家族がスキップしてしまうという苦情もあれば、ネット動画でCM特集も人気映像のひとつだった。それでは、どうやったらおもしろいCMだと認知してもらえるのか？この点がCM制作者としての勝負所であろう。

ワンセグ利用者は、チャンネル変更時に映像が安定するまで時間がかかるのでCMタイ

ムだからといってチャンネルを変更できないのが現状だ。

8.5.5 新メディア利用による変化

ハードディスク内蔵の録画視聴により、テレビの視聴時間が増え、視聴番組のジャンルも広がった。

ネット動画視聴者は、据え置き型テレビでの視聴時間は減る傾向にあるが、視聴対象のジャンルは広がったという認識と狭まったという認識に分かれた。ネットで次々に検索視聴していく結果、視聴対象の広がりを感じられる場合もあれば、より深くなって狭まったと感じられる場合もあった。

ワンセグ視聴によって、視聴時間は確実に増えたと捉えられていた。

据え置き型テレビから多様なスクリーンへの移行が進行中である。

8.5.6 番組に関する情報取得源

一口コミに加えて新聞のテレビ欄等紙媒体も活用

どのメディアを使うにしろ、どの番組を録画するのか、検索するのか、ワンセグで見るとか、その元となる情報はどこから入手しているかについては、高校生と大学生・社会人では若干の違いがあるようだ。

高校生の場合は学校の友人からの情報が大きな影響力を持つ。加えて、SNSやブログを通じて情報を得る場合もある。見逃せないのは、ハードディスクレコーダーを利用している高校生が「新聞のテレビ欄」を強調していたことである。

- ・テレビ欄、新聞のテレビ欄が一番多い気がします。・・・ちっちゃく番組の解説が載ってるじゃないですか、右下の方に。[ID2 ハードディスクR 高1 男性]
- ・テレビ欄、新聞のテレビ欄見て録画したりしますね。・・・(新聞のテレビ欄は)週4回くらい見てます。[ID4 ハードディスクR 高2 女性]
- ・(デジタルテレビの番組予約欄には)俳優の名前とか書いてないんで、テレビ欄。新聞の方が詳しい。[ID5 ハードディスクR 高2 女性]

一方、大学生や社会人となると、家族、友人からの情報もあるが、インターネットの番組表がよく利用されていた。また、リクルートの「R25」というフリーペーパーの番組欄も情報源として活用されている。

高校生の新聞のテレビ欄、大学生・社会人のフリーペーパーというように、テレビ番組に関する情報源として紙媒体も根強く活用されている。

8.5.7 番組を通じた人的コミュニケーション

— 高校生の間では対面、ブログで情報・感想の交換が盛ん

大学生、社会人の間には、テレビ番組のことはあまり話題にならない、との声もあったが、高校生の間では、テレビ番組やネット動画に関することが学校で話題になり、感想をSNSやブログで友人、知人に伝えることも盛んなようだ。

- ・ mixi の日記と、あと、学校で直接話す。日記のほうが、詳しく時間かけて書いてるから、よく伝えていと思う。(内容は?) ドラマがこの後どうなるかとか、最近この役者どうとか。[ID22 ワンセグ 高2 男性]
- ・ YouTube とかニコニコ動画で結構面白い動画があると、友達同士とか、バイト先に自由に使えるパソコンがあるんで、情報交換わりとひんぱんにしてますね。・・・ケータイブログや mixi に結構頻繁に載せたり、・・・若手俳優のファン仲間マイミクシィの人たちと日記に書いて話題にしたりもする。[ID13 ネット動画 高3 女性]

8.5.8 新メディア利用の将来像

— 番組解体、時間軸の変更が進行し、据え置き型テレビから多様なスクリーンへ移行中

ハードディスクレコーダーによる録画視聴、パソコンによるネット動画視聴、ワンセグ視聴という3つの新しいメディア利用の実態をグループ・インタビューを通じて描いてきた。そこから見える新しい視聴の特徴は「番組解体」である。

ハードディスクレコーダーによる録画により、長時間の録画が手軽にできるようになった。録画をするのは「見逃したくないから」だけではなく、「効率よく視聴するため」という理由がある。好きなアーティストだけを選択して見るための録画再生であり、ドラマの要所要所を見るためであり、「どうしてもいい部分」を見ないための再生視聴なのである。

ネット動画には、番組の“おいしいところ”だけを再編集された映像がアップされ、視聴されている。テレビ番組はいったん解体された上で視聴されている。

番組は断片化され、情報パーツの寄せ集めと受け止められている。

もう一つの特徴は、時間軸の変更である。録画視聴したり、ネット上で番組を見ることは、放送時刻とは別の時刻に視聴することである。放送局は番組編成を考え、制作者は与えられた時刻に放送されることを前提に番組を制作してきた。朝には朝に合った番組があり、夕方には夕方にふさわしいとされる番組があった。放送が映画やDVD等他の映像メディアと決定的に違うのは、時間軸をもっている点であった。しかし、録画視聴やネット上の視聴によって、放送時刻は無視されている。しかも、若年層の視聴者は、もともとの放送時刻とのずれを全く気にしていない。ワンセグはリアルタイム視聴の道具と広く宣伝

されてきたが、若年層にとってはリアルタイム視聴は機能の一つにすぎず、モバイルの小型録画再生機という使い方もみられた。放送時間帯という放送にとって核心的な時間軸が、いとも簡単に別の場所に置かれることになった。

さらに大きな時間軸の変更は、倍速視聴である。「効率よく見るため」録画再生で視聴し、不用部分をスキップするだけでなく、早回しによって時間短縮しながら視聴する。ドラマの中でも“どうでもいいところは倍速で”視聴する。視聴者にとって必要な部分とそうでない部分でギアチェンジし、時間軸を自在に編集しながら視聴する。制作者、テレビ局という送り手の作った時間軸をそのままには受容しない、新しい視聴者の出現である。

テレビの見方は変わってきた。ハードディスクレコーダー、ネット動画、ワンセグはそれぞれに新しい視聴の仕方を生み出した。しかし、視聴時間から見たとき、ハードディスクレコーダー利用者、ワンセグ利用者は、新しい機器導入前よりテレビを長時間視聴している。ネット動画利用者をとっても、本アンケート調査の結果によれば、視聴されたネット動画のうち、テレビ番組は4割強である。テレビ番組はネット上でもまだ健在だ。

現在、若年層のテレビ離れがあちらこちらで指摘されている。確かに、番組解体、時間軸の変更など、テレビがテレビたる所以の核心を揺さぶられていることが、本インタビューで浮き彫りにされた。しかし同時に、新しいメディアを通じて若年層が以前にもましてテレビ映像に浸っている姿も確認された。今回のグループ・インタビュー調査を通じて見えてきたのは、現在進行中の現象は「テレビ」離れではなく、「家庭での据え置き型テレビ」離れであり、多様なスクリーンに移行中ということではないだろうか。

調査対象[I D]リスト

グループ	ID	社会人/学校学年	性別	居住地	調査日
HDDレコーダー	1	高1	男性	東京都杉並区	3月15日
	2	高3	男性	東京都北区	〃
	3	高2	男性	神奈川県川崎市麻生区	〃
	4	高2	女性	東京都杉並区	〃
	5	高2	女性	埼玉県さいたま市緑区	〃
	6	大学4	男性	東京都大田区	3月14日
	7	社会人	男性	東京都中野区	〃
	8	大学3	男性	東京都杉並区	〃
	9	社会人	女性	東京都墨田区	〃
ネット動画	10	高1	男性	東京都杉並区	3月15日
	11	高2	男性	千葉県鎌ヶ谷市	〃
	12	高1	女性	東京都葛飾区	〃
	13	高3	女性	東京都板橋区	〃
	14	高2	女性	東京都港区	〃
	15	大学4	男性	千葉県柏市	3月14日
	16	社会人	男性	東京都江戸川区	〃
	17	社会人	女性	神奈川県横浜市港北区	〃
	18	社会人	女性	東京都世田谷区	〃
	19	大学4	女性	千葉県松戸市	〃
ワンセグ	20	高1	男性	埼玉県川口市	3月15日
	21	高3	男性	神奈川県横浜市港北区	〃
	22	高2	男性	東京都稲城市	〃
	23	高3	女性	埼玉県さいたま市西区	〃
	24	高3	女性	東京都大田区	〃
	25	社会人	男性	東京都豊島区	3月14日
	26	大学3	男性	東京都江東区	〃
	27	社会人	女性	東京都三鷹市	〃
	28	社会人	女性	東京都東久留米市	〃
	29	大学2	女性	東京都三鷹市	〃

9. まとめ

9.1 テレビの視聴時間とその必要性、他メディアとの関連

—テレビはすでに必要不可欠のメディアではない。動画サイト高頻度利用者はテレビ視聴時間を侵蝕傾向

今回の特色は今までにない形式の「番組表記録調査」を実施したことである。

これについては、「0.4 番組表記録調査」の節でも触れたように、番組リストを提示し、実際に視聴または録画した番組にチェックしてもらおうと同時に、その番組の視聴環境や実視聴時刻、満足度、見たきっかけ、並行行動等をかなり詳細に質問するものである。

その結果、平日の視聴時間は **119 分**であった(同時に実施したアンケート調査による自己報告の平日視聴時間は 136 分)。比較する対象がないため、この時間が以前より増加したとも減少したとも言えない。参考までに近年実施された調査から、ほぼ同じ年層の対象者に限定してテレビ視聴時間を分析した結果を並べると次の通りである。

表 9.1.1 近年に実施された調査による同年齢層のテレビ視聴時間(いずれも「平日」)

調査年	調査主体・調査名	対象地域	視聴時間(分)	分析対象年齢	分析対象数	調査形式
(1)2005	NHK国民生活時間調査	全国	129 146	10代 20代	1184 1102	日記式 日記式
(2)2005	東大情報学環「日本人の情報行動」	全国	162.8	16-24	217	日記式
cf.2000	NHK国民生活時間調査	全国	136 160	16-19 20代	111 335	日記式 日記式

調査(2)(3)に関しては、年齢層を今回の調査に合わせて筆者がデータを二次分析した結果

調査によって時期の他、調査方法も異なるので直接比較はできないが、分析対象年齢を今回の対象者と同じにして再分析した調査(2)と比較すれば、今回の視聴時間は少ないように見える。

参考データとして『NHK国民生活時間 2000年調査』の10代後半および20代の数値を示したが(10代前半は132分)、NHK調査では2000年から2005年にかけて、若年層のテレビ視聴時間は減少しているようである。

調査方法や調査地域も異なる上記のデータ群から、確定的なことは言えないが、日記式調査および今回の番組表記録調査での比較で言えば、動画サイトやSNSの利用が活発化したここ1、2年で、若年層のテレビ視聴時間は減少しているようにも見える。

もし仮に、通時的に若年層のテレビ視聴時間が減少傾向にあるとすれば、次のような理由が考えられよう。

(1)テレビ番組の内容がつまらなくなった。とくにアニメ、ドラマ、スポーツで、若年層の間で強い関心を引き、話題になるようなキラーコンテンツが出現していない。

(2)ケータイ、ゲーム、DVD等、娯楽のソースが多様化した。

(3)とくに今回の調査対象者の16歳から24歳の若年層においては、携帯電話やパソコンの利用が常態化し、またそのほとんどがネット利用者である(調査対象中携帯ネット利用率99.7%、パソコンネット利用率75.5%)。中でも、動画サイトやSNSサイトの利用が、テレビ視聴時間を剥奪した。

(4)テレビ番組を視聴するメディアが、ワンセグやパソコン、録画による視聴など多様化し、従来のテレビモニターを通じた視聴時間としては、減少した。

このうち、(4)について、今回の調査では「番組を視聴した機器」も聞いているが、通常のテレビモニターが96.2%と圧倒的で、パソコンは1.4%、ワンセグは0.5%と少なく(1.3参照)、また録画再生視聴もほとんどなく(0.8%)、テレビモニター通しのリアルタイム視聴が減少したとした場合の理由説明としては説得力に欠ける。

(1)については今回の調査では直接的に明らかにすることはできないが、アンケート調査の間35で「あなたにとって重要なもの」で「テレビ」を1位にあげた人が全体の11.6%しかなく、携帯電話の69.5%はもとより、パソコンの16.1%にも劣っていること(1.7.2参照)、問36で「テレビはなくても困らない」が49.2%、「ないほうがいい」が1.0%、「全くいらない」が0.3%と、半数がなくてもいいと答えていること(1.7.3参照)、等から見ると、かつてに比べ、テレビに対する興味はかなり減じているようである。ただ、そのことが、ただちに「テレビの内容がつまらなくなっている」ことを示しているのではないことは言うまでもない。

今回、視聴された番組について、個々に「満足度」も質問した。その結果では平均値が1.15であり、予想したよりはおおむね満足して視聴されていた(「非常に満足」を2点、「まあ満足」を1点、「どちらでもない」を0点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として計算した。1.15という数値は、平均して「まあ満足」以上だったことを示している。1.5節、図1.5.8参照)。とはいえ、これはあくまで実際に視聴した番組の評価であり、背後には、つまらなさそうだから、あるいは過去に見てつまらなかったから視聴しなかった番組が数多く存在している可能性もある。なお、バラエティー番組について、調査期間中の番組ごとの実際の視聴率(ビデオリサーチ社調べ)との関連を分析した結果(図1.5.11参照)、視聴率と満足度との関連はまったく示されず(相関係数0.03)、視聴率が高いからといって、満足度が高いわけではないことが明瞭に示された。

(2)について、上述したことも関連するが、アンケートの間34で、40項目を列挙し、「あなたが余暇を過ごすにあたって重要なことがら」を複数回答で質問した結果では、「携帯電話のメール」(74.2%)に次いで「テレビ」が2位(71.3%)であり、「買物」(66.1%)、「音楽鑑賞」(57.1%)、「マンガ」(50.3%)、「映画」(44.8%)等を凌いでいた。余暇生活全体で見れば、やはりテレビの存在は依然として大きいことが示唆されている(5.2参照)。

(3)の他の情報メディアとの関連であるが、今回の調査では、携帯電話やパソコン利用について、日記式で時間を計測していないため、消費時間のカニバリズム(相互侵蝕)について言及することはできない。アンケート調査の問 28 で携帯電話やパソコン関連等の情報行動の頻度を質問しているが、たとえば「動画投稿サイト」に限定して言えば、「ほぼ毎日」と答えた人の比率が、携帯電話では 6.5%、パソコンでは 10.7%と意外に低い数値であった(5.1.1、5.1.2 参照)。また、それらの利用頻度とテレビ視聴との関連を見ても、統計的に有意な関連は見いだせなかった(3.1.4 および 5.1.5 参照)。しかし、「毎日利用者」に限定して分析すれば、「携帯電話で動画投稿サイトを見る」が 1 日平均 17.4 分、「パソコンで動画サイトを見る」が 1 日平均 74.8 分にもおよび(いずれも自己報告)、行動時間量としてはけっして看過できない数値であった(5.1.4 参照)。また、それらの毎日利用者に限定して、動画投稿サイト利用時間とテレビ視聴時間との相関を分析した場合、携帯電話が -0.219、パソコンが -0.139 といずれも負の相関を示した。ともに母数が小さいため、危険率 5%未満では統計的有意性は示されていないが、社会調査の数値としては比較的大きな負の相関値である。つまり、今回の調査からも、「動画投稿サイト」の利用は、テレビの視聴時間を侵蝕している可能性が示唆されている。

9.2 ながら

—テレビ視聴はケータイとともに

アンケート調査の問 7 では、テレビを見ながらすることについて質問した。その結果、「よくある」「ときどきある」の合計で最も多かったのが「携帯電話でメールやサイト閲覧をする」(64.9%)で、その他「パソコンでメールやサイト閲覧をする」(37.5%)、「携帯電話を特にあてもなくいじる」(33.1%)の回答比率も高く、現在の若年層はテレビ視聴の間も携帯電話を手放せない状況が明瞭に示された(1.5 節参照)。また、問 8 では番組視聴に伴う様々な行動を質問しているが、「番組内に出てきたことがらについて、インターネットで検索する」(23.5%)、「番組を見ながら、番組の内容について、友人・知人とメール交換する」(19.6%)、「放送局の番組公式サイトを見る」(17.0%)、「番組の内容について、インターネット上で他の人の感想や意見を見る」(11.6%)、「番組を見ながら、出演者のプロフィールをインターネットで検索する」(10.3%)など、ネット関連の行動に対する回答比率がかなり高かった(1.4.1 参照)。

今回の「番組表記録調査」では、実際に番組を見ながらどのような並行行動をしたか、番組ごとに質問した。「ふだん」の行動を主観的な感覚で回答するアンケート調査よりも、この番組表記録調査の結果の方が、実態を正確に反映しているといえる(「ふだん」ではなく、特定の番組に関する実行動なので数値としては低いものになる)。その結果、「何らかの形で携帯電話を使った」と答えた比率は、視聴番組総件数のうち 18.8%であった(1.5

節、表 1.5.1 参照)。とくに高校生の比率は 22.5%と最も高い。携帯電話利用のうち、もっとも多いのがメール(14.9%)である。時刻別の分析によれば、平日 18 時台にはテレビ視聴者の 34.8%が同時に携帯電話をいじっていた。

ながらでテレビを見るということは集中して見ていないということである。今回の番組表記録調査では、番組ごとに集中度(集中してか、ぼんやりとか)と専念度(他のことはせずか、他のことをしながらか)も質問しているが、視聴された番組全体では、集中度 42.5%、専念度 42.3%であり、予想通り、半分以上の番組は、どちらかといえば「ぼんやり」と、「他のこともしながら」視聴されてた。

テレビというメディアが、必ずしも自己関与度(self-involvement)の高いメディアでなく、専念度がけっして高くないことは、NHKの調査で古くから明らかにされていた。その意味で、今回の結果はとくに驚くにあたらない。ただ、「他のことも」の中身の多くが「ケータイ」であって、ケータイというメディアがかなりアクティブな意識集中を要求する以上(たとえばメール発信等)、以前より一層、テレビはぼんやり見られる傾向が増したのではないかと推察される。

9.3 IPTV、ネット動画

—テレビ視聴は「タダ」に限る？

アンケート調査の問 14 では、BS 放送サービスの加入の他、WOWOWなどの有料サービスへの加入、ケーブルテレビへの加入、「ひかりTV」や「BBTV」などのIPTV(ブロードバンド回線による有線テレビ視聴契約)への加入等も質問している(1.6 節、図 1.6.1 参照)。BSは別にすれば、有料サービス契約者もしくはIPTV契約者は調査対象者の 33.9%である(問 14 で選択肢 3 から 15 までのいずれか一つでも利用と答えた人の比率を算出)。ここからさらに「ケーブルテレビ」も除外すれば、テレビモニターで有料サービス放送ないしIPTVに加入している人は、調査対象者の 15.2%でしかない。たとえば、IPTVのひとつ「ひかりTV」などでは、各放送局の提供するオンデマンド番組も視聴することができる(ただし、基本は別途有料)にもかかわらず、加入者は現状では非常に少ない。

やはり「テレビはただ」の意識が強く、テレビ視聴に際し、付加的に費用を払うことには日本人の場合、大きな抵抗感があると考えざるを得ない。

このことは、テレビ局系の有料動画サイトの利用者が、いずれも極めて比率が低いことにも現れている。日本では有料の「オンデマンド・サービス」の利用普及は、現状では容易ではない。

一方、実質的に多くのコンテンツを無料で視聴できる「GyaO」(9.0%)、「Yahoo!動画」(22.5%)等のプロバイダー系動画サイトはそこそこの利用率を示している。ま

た、「YouTube」(59.5%)、「ニコニコ動画」(26.4%)など、無料で視聴できる動画投稿サイトは、利用率がかなり高い。

注：今回の調査後の2009年4月にGyaOの運営会社がYahoo!動画を運営するヤフージャパンの子会社となったため、両サービスは統合した。

たとえば東京では現在、地上波とBS合わせて10局以上が付加料金なしで(NHKの受信料はさておく)視聴可能である。ニュース、スポーツ、ドラマからアニメやバラエティーまで、ほとんどのジャンルの番組が総花的にほぼ1日中展開されている。ターゲットは若者中心とはいえ、それなりに視聴者の興味を惹くべく、工夫した番組作りがなされている。映画や過去のドラマが見たければ、100円でレンタルできるDVDも登場してきた。その上、ネットの状況も合わせ鑑みれば、少なくとも大都市圏では、テレビに関連する「有料」の映像コンテンツサービスの市場は、短期的には必ずしも大きな展望があるとはいえないだろう。

9.4 デジタル放送

—デジタル移行に大きな課題

今回、「地上デジタル放送を見ている」と答えた人は37.1%であった(アンケート調査問9.2章参照)。また、デジタル放送を視聴していないと答えた人(57.1%)に対する「いつ対応機器を準備するか」という質問では、「近いうちに」と答えた人が42.3%にとどまった。つまり、調査全体の32.9%(「デジタル放送を見ていない」と答えた57.1%×(1-0.423))は、現在地上デジタル放送を見ておらず、また近いうちに対応する気もない、と答えたことになる。

また、地上デジタル放送を見ていると答えた人でも、約半数(51.3%)はアナログ放送も並行的に見ており、アナログ放送を見る理由の58.6%が「自宅にはアナログ放送しか見られないテレビもあるから」と答えている。つまり、世帯としては、デジタル放送が見られる環境であっても、そのうちのかかなりの世帯で、アナログ放送しかみられないテレビがあり、そのテレビはデジタル完全移行後は、地デジチューナーを買い足す等しない限り、放送をみられなくなる(ただの鉄の箱になる)ということである。ということは、リビング等のデジタル放送可視聴テレビの視聴時間は担保できても、それまでリビング以外の自室等でアナログ放送で見られていた視聴時間が、しばらくの間、まるまるゼロになる可能性もあるということである。これは、総計でみた視聴時間の一時的な大幅減少を意味する。

アメリカでデジタル移行は成功したと言われるが、アメリカではその前から全世帯の約85%がケーブルないし衛星放送サービス(DirectTVなど)に加入しており、多くの視聴者はとくに何もする必要がなかった。ケーブルテレビやIPTVへの加入率が低い日本の先例にはならないのである。

9.5 さいごに

今回の調査で、「テレビ視聴」という枠組みの中では、事態はさほど変化していないことが明らかにされた。すなわち、視聴機器は依然、既存型の「テレビモニター」が大半（96%）であり、視聴場所も自宅がほとんど（自宅の居間と自室の合計で 97.9%）、という視聴環境は変化がなかった。「番組をみたきっかけ」について EPG は、3 件の番組（0.1%）しかなかった。

IPTV（ここでは「ブロードバンド回線による有線テレビ視聴契約」の意味）も登場し、テレビモニター上であれパソコン上であれ、ビデオオンデマンドサービスも利用できる環境にあっても、視聴者はそのために対価を支払うのに積極的でない。デジタル放送が開始されても、そのメリットに狂喜し、なだれを打ってアナログを見なくなったわけでもない。

しかし、情報環境全体の変化という側面では、確実にテレビの位置づけは変化している。テレビはもはや若者にとって必要不可欠の最重要メディアではなく、その地位をケータイに譲りつつある。テレビを見ながらも、多くの若年層視聴者の手にはケータイがある。自分の好きな時間に好きなジャンルのコンテンツを無料で視聴できる「動画投稿サイト」は、6 割以上の若者が利用しており、そのうちほぼ毎日利用するという高頻度利用者の 1 日の利用時間は 75 分に及ぶ。とはいえ、その動画の 4 割はテレビ番組の切り貼りである（かつ、その多くはテレビ局や番組制作会社から許諾を得たものではない）。

結局、現状は「テレビ離れ」とまでは言えず、惰性的にテレビ視聴行為が継続される一方、新しいメディアを通して、これまでに蓄積されたテレビ資源が緩やかに食いつぶされはじめた時代と言えよう。新しいメディアが、テレビを超えるコンテンツを創造し、それが喝采をもって迎えられる、という状況にはいまだない。情報プロバイダー、コンテンツクリエイターとしてのテレビの使命は、これからも依然として、あるいはますます重要になっていくように思われる。